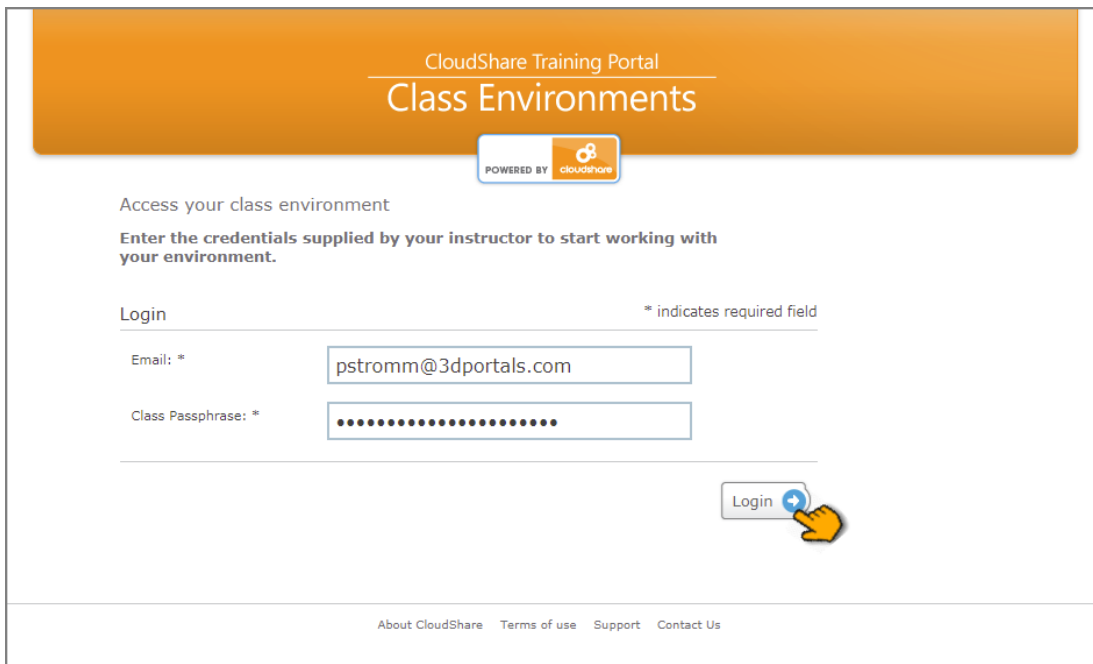


CloudShare ビューアを使用する

CloudShare へようこそ！ 当社のブラウザベースビューアは、仮想ラボ、クラス、または POC 操作に使用できるパワフルで生産性の高い機能を多数ご用意しています。ここでは、簡単に使用を開始するためのガイドを提供します。

CloudShare ビューアにログインする

1. にアクセスするために、本システムから送付したメールに記載されているウェブリンクをクリックしてください。CloudShare ビューアが専用のブラウザタブで開きます。
2. 起動したブラウザから、メールアドレスと受信したパスフレーズを使用してビューアにログインします。下記はログインページクラスの例を示しています。




注記

シングルサインオン (SSO) プロバイダーを使用して別のプラットフォームからビューアにアクセスする場合、異なるログインダイアログが表示される場合があります。

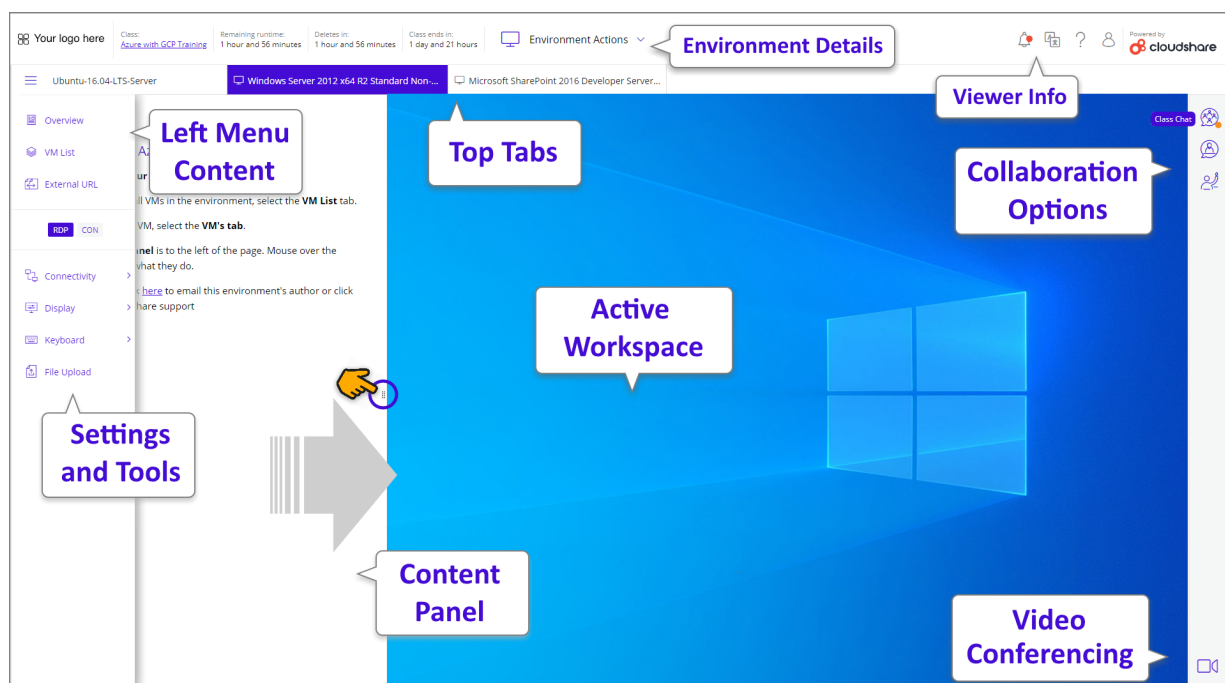
ログイン後、CloudShare ビューアが提供するプライベート環境に移動します。

ビューアの概要

CloudShare ビューアでは、簡単に環境を操作できるツールの機能をすべて使用できます。この機能を使用すると、ユーザーは下記に同時にアクセスできるようになります。

- セットアップされた仮想マシン (VM) と外部リソース (例: パブリッククラウド)
- 提供されている場合、追加のコンテンツとリソース
- ビルトインビデオ会議機能
- 利用可能な場合、チャットやパーソナルアシスタンス機能などのコラボレーション用ツール

当社のビューア設計により、これらのコンポーネントを同時に、または任意の組み合わせで簡単に使用できます。



トップタブ

ワークスペースの上部に表示されるタブには、環境情報の概要が表示されます。各 VM またはリソースは、個別のタブで表示されます。

タブをクリックすると、アクティブワークスペースにそのコンテンツが表示されます。アクティブタブは強調表示されます。


VM の読み込みに失敗した場合、またはエラーが発生した場合、アクティブワークスペースに通知が表示されます。

アクティブワークスペース

環境で使用可能なコンポーネントを操作することができます。別のタブを選択すると、アクティブワークスペースが変更されます。

左側のメニュー

ワークスペースの左側にあるパネルには、概要、ユーザーやコース資料、外部のウェブリンクなどのコンテンツやリソースが表示されます。これらは、VM や他のタブが表示されている間でも起動できます。

このメニューの上部にあるメニューアイコン  をクリックすると、パネルが拡大 (または縮小) し、利用可能な各リソースの名前が表示 (または非表示) されます。

メニュー項目をクリックすると、パネルが表示されます。パネルを閉じるには、メニュー項目をもう一度クリックしてください。



注記

左側のメニューに VM を表示することはできません。トップタブにのみ表示されます。

コンテンツパネル

VM などの他のアクティブなワークスペースコンポーネントにアクセスしながら、**コンテンツパネル**を表示することができます。

パネルを開くには、**左サイドメニュー**に表示されるメニュー名をクリックします。パネルを閉じるには、そのメニュー名をもう一度クリックしてください。

パネルが開いている状態では、**コンテンツパネル**を調整することで、現在のアクティビティに最適な表示に設定できます。パネルの調整ハンドルを希望する幅にドラッグしてください。

コラボレーションオプション

ビューアをトレーニングに使用する場合、ビューアの右側にあるオプションを使用することで、インストラクターと簡単にコミュニケーションをとりながら作業したり、クラス全体でチャットしたりできます。

ここに表示されるオプションは、ビューアの使用方法によって異なります。オプションには下記のようなものがあります。

- 授業チャット
- インストラクター チャット
- インストラクターへの「Assist Me (アシスト)」リクエスト

コラボレーションオプションを使用するには、アイコンをクリックします。閉じるには、アイコンをもう一度クリックします。

ビデオ会議

ビューアをトレーニングに使用する場合、クラス用にセットアップされた CloudShare ビデオ会議にすぐ参加できます。詳細については、[こちら](#)をクリックしてご確認ください。

環境の詳細

ビューアの左上には、名前、残りのランタイム、終了時間など、現在の環境に関する重要な詳細が表示されます。

また、下記の現在利用可能な**環境アクション**にもアクセスすることができます。

- **元に戻す** - セッションを元の状態に戻します。こうすると、事実上セッション全体を最初からやり直し、作業内容をすべて削除することになります。環境に外部のクラウドリソースが構成されている場合は、それらも元に戻されます。
- **一時停止** - アクティビティを停止し、環境を現在の状態で保存し、すべてのリソースをシャットダウンします。
- **クラウドフォルダを表示する** - 環境内の VM で利用可能なクラウドフォルダを利用できるようにします。

ビューア情報

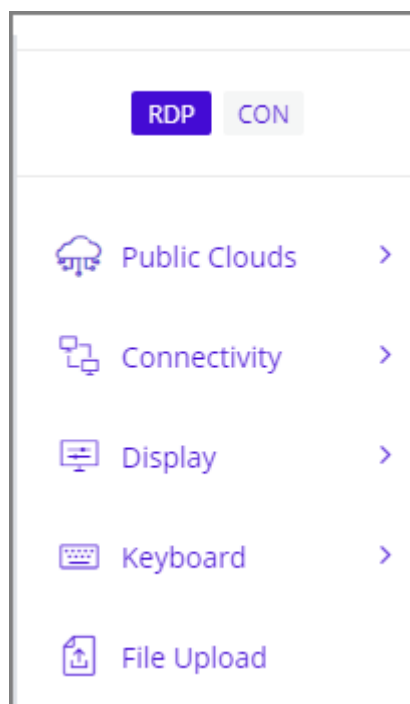
このエリアでは、最近の CloudShare 通知、ビューアの言語選択、ヘルプリンク、およびユーザーアカウントの詳細にアクセスできます。

設定とツール

CloudShare には、ビューアを自在に操作するために必要なすべての設定があります。下記に各機能の詳細を説明します。

ビューアの設定とツール

CloudShare ビューアを使用しながら、各種設定や調整、テキストの転送、認証情報の取得、ファイルのアップロードなどを行うことができます。



使用できる設定とツールは、現在使用しているリソースによって異なります。たとえば、VM がアクティブな場合は、接続の詳細を表示するオプションが表示されます。

パブリッククラウド

このメニュー項目は、環境で外部リソースを使用している場合に表示されます。

現在のセッションの外部パブリッククラウドのログへのアクセスを提供し、現在使用されている外部クラウドリソースで利用可能な認証情報を表示します。

接続

アクティブなリモートアクセスの接続タイプが、設定とツールメニューの上で常に強調表示されます。



VM で使用されている OS によって、使用できる接続タイプが異なります。

希望するタイプをクリックすると、接続タイプを切り替えることができます。アクティブな VM により、選択したタイプを使用して再接続します。

接続メニューでは、以下のようなビューアの接続設定や機能にアクセスできます。

- **再接続** - アクティブな VM に再接続コマンドを発行します。(目的の接続タイプをクリックして再接続することもできます。)
- **RDP のダウンロード (Windows OS のみ)** - アクティブ VM の Windows リモートデスクトッププロトコル (RDP) ファイルをローカルマシンにダウンロードします。詳細については、こちらをクリックしてご確認ください。
- **接続テスト** - アクティブな環境に対して、標準的な WebSocket と速度テストを実行します。リソースへの接続に問題がある場合、または接続が遅くなっている場合、この機能によりビューア内から関連情報を取得できます。テスト結果を理解するためのヘルプはこちらをクリックしてご確認ください。
- **接続の詳細** - ログイン認証情報、IP アドレス、割り当てられたリソースなど、現在の VM への接続に関する重要な情報を表示します。必要に応じて、この情報をコピーして他の場所で使用できます。

表示

下記のようなビューア表示設定へのアクセスが可能です。

- **解像度 (Windows OS のみ)** - ドロップダウンリストから、アクティブなリソースに使用されるディスプレイ解像度を選択できます。表示される解像度は、リソースの特性によって異なります。
- **色深度** - アクティブなリソースの表示色深度を 8、16、または 32 ビットから選択できます。
- **サウンド構成** - アクティブなリソースのオーディオ機能を有効または無効にできるポップアップメニューを表示します。
利用可能な場合、44.1kHz/16bit 以上のオーディオサンプリング周波数、またはビット深度を提供する高品質オプションが表示されます。
- **全画面表示** - アクティブなリソースをフルスクリーンモードで表示します。このモードでは、ビューアのメニューや機能は使用できませんが、リソースでの作業を可能にするために、関連する機能を示すポップアップメニューが表示されます。
このモードを終了するには、Esc キーを押すか、ポップアップメニューから Exit をクリックします。

キーボード	<p>さまざまなビューアのキーボード設定を実行できます。利用可能な設定は、現在アクティブな VM タイプ (例:、Linux または Windows) によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none">• VM クリップボード (Windows OS のみ) - ローカルコンピューターと VM 間でテキストのクリップボードを転送できます。詳細については、こちらをクリックしてご確認ください。• テキストの送信 (Windows 以外の OS) - ローカルコンピューターと VM 間でテキストのバッファを転送できます。詳細については、こちらをクリックしてご確認ください。• Control-V 機能 - VM の Control-V または Command-V 機能を構成できます。詳細については、こちらをクリックしてご確認ください。• ユーザー名の送信 - アクティブな VM の現在のユーザー名をプレーンテキストとして送信します。• パスワードの送信 - アクティブな VM の現在のパスワードをプレーンテキストとして送信します。• Ctrl-Alt-Del を送信 - アクティブな VM に <i>Ctrl-Alt-Del</i> キーの組み合わせを送信して、「再起動」するシミュレートを実行します。• Windows キーを送信 (Windows OS のみ) - <i>Windows 関連の機能やその他の特別な機能</i>を呼び出すために、アクティブな VM に <i>Windows</i> キーを送信するシミュレーションを実行します。• 戻る、進む、ホーム (インターネットページのみ) - 関連するページコマンドをアクティブなリソースに送信します。• キーボード言語 - キーボードが使用する言語とアクティブな VM に送信する言語を選択できるドロップダウンリストを表示します。
ファイルのアップロード	<p>ローカルファイルをアクティブな VM に転送するためのファイルブラウザダイアログボックスを提供します。</p> <p>ファイルがアップロードフォルダに転送されます。このフォルダの場所は、アクティブな VM のオペレーティングシステムによって異なります。</p>

ビューアから接続をテストする

VM への接続に問題がある場合や接続が遅くなっている場合、[接続をテスト](#) することができます。

ビューアの左側にある [接続メニュー](#) から、[接続テスト](#) を選択してください。